

発達段階に応じた情報活用の実践力の向上を目指す  
カリキュラムと評価の開発  
～石金夢の森公園を核とした題材を通して～

グループ名: 東部小学校情報教育推進委員会  
代表者名: 富山市立東部小学校 校長 土山 弘子  
他17名

## 目 次

- 1 研究主題
- 2 主題設定の趣旨
- 3 研究内容と方法
- 4 研究の組織について
  - (1) 評価研究部会
  - (2) 学習環境研究部会
- 5 保護者への意識調査について
- 6 カリキュラムについて
  - (1) 各学年のテーマについて
  - (2) カリキュラムについての教師の意識
  - (3) カリキュラムについての子どもの意識
- 7 評価について
  - (1) 6学年の実践と評価
  - (2) 平成13年度の3学年の実践から
- 8 終わりに

発達段階に応じた情報活用の実践力の向上を目指す  
カリキュラムと評価の開発  
～石金夢の森公園を核とした題材を通して～

グループ名: 東部小学校情報教育推進委員会  
代表者名: 富山市立東部小学校 校長 土山 弘子  
他17名

本校は地域にはたらきかける体験的な学習を継続してきている。それは学校の伝統であり、保護者もそれを当然のように受け入れ、協力的である。また、学校の学習への参加・協力する機関も身近に多い。そこで、これらを生かし、その体験的な学習の中で、児童の情報活用の実践力を向上させたいと考えた。

総合的な学習の時間と生活科において育成したい情報活用の実践力について段階的かつ具体的な子どもの姿で表し、年間カリキュラムに位置づけて実践することにした。

そしてその段階的な目標と連動した評価項目(児童個人及び相互、および教師用)を作成し、実践を通して児童の成長を把握し、その内容や問題点を明らかにすることとした。どのような指導や支援が児童の情報活用の実践力向上に適切であるのかを分析することにより、次の学習指導に生かし、改善し、学校としての総合的な学習の時間のカリキュラムが作成できると考えたからである。本研究では下記の3点について、明らかにしたいと考えた。

- ・学習活動と対応した情報活用の実践力の段階的育成カリキュラムの作成と評価の手法
- ・児童の主体的な学びを生む学習環境の整備のあり方
- ・地域住民や関係機関、遠隔地の学校との情報交換、交流を目的とした授業デザインのあり方

---

勤務先

富山市立東部小学校

〒930-8112 富山市石金1丁目5-44

TEL 076-421-3445

FAX 0767-421-3470

<http://www.tym.ed.jp/sc109/>

e-mail: [toubutoyama-es@tym.ed.jp](mailto:toubutoyama-es@tym.ed.jp)